



革新都政をつくる会 メールニュース

〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館 3階
03(5427)5870 fax 03(5427)0016
URL: <http://ny.airnet.ne.jp/kakusin/> E-mail: kakusin@ny.airnet.ne.jp

37団体26地域から、88名が参加し「団体・地域代表者会議」を開催

12月5日(火)革新都政をつくる会は、「団体・地域代表者会議」を開催しました。会議に先立ちダイジェストビデオ「吉田万三さんとともに東京を変えよう」(15分)が上映され、参加者から大きな拍手が沸きました。

中山伸代表世話人の挨拶、日本共産党の渡辺康信都議会議員より、石原都知事の夫人を同伴しての豪華海外視察や四男をめぐるトウキョウワンダーサイト問題について報告がされました。相楽事務局長からは「都知事選勝利」に向けた基本戦略と運動の強化についての提案がおこなわれました。

討論の中では、「介護や医療難民を生み出している現状を変えるために、職場はもとより医療・介護にたずさわる法人や労働組合、個人へ呼びかけ地域の会を立ち上げていく(医療労働者)」「東京都の施設が次々に廃止されている都政への怒りの声が高まっていること。来年2月に集会を準備し、これまで手の届かなかった人々に支持を広げる。会としてもこれまでの経験を越す運動作りが重要である(三多摩の代表)」「海外視察問題にふれ、なぜ、韓国や中国でなく台湾なのか。石原都知事自らが中国や韓国に対する誹謗中傷行為が原因であり、首都東京の役割としての国際交流の妨げとなっていることに、痛烈な批判をおこないました(八王子の代表)」「吉田万三さんから立候補の相談を聞かされたとき、真っ先に拍手をしたこと。地域では、政党ポスターを貼らしてくれない家庭でも、吉田さんのすてきな笑顔のポスターなら貼らしてくれる。と対話の広がりが報告されました(足立の代表)」「障害者いじめの都政を転換させること。かつての革新都政を生み出したときの感動を再度味わいたい(障害者団体)」と決意が述べられました。

新婚人からは地域でのオシャレを通じ広く、都政を語り支持を広げている。生活と健康を守る会から、福祉・医療・増税による弱者いじめの実態、低所得者が安心して暮らせる都政を取り戻すために頑張ると決意が述べられました。

最後に「都政を転換する三つの目標」は、都民の広い支持を受けるものと確信している。提起した組織内は年

内に固め、有権者の過半数を越す支持を広げる対話を進めよう。そのため支持と対話のあり方を工夫しようと、相楽事務局長がまとめを行いました。

駆けつけた吉田万三さんからは、「出馬表明からあっという間に一ヶ月が過ぎた。都知事選まであと四ヶ月、憲法や教育基本法をめぐる重要な時期であり、その後につながる重要な選挙であり、全有権者を対象にした選挙にしないとならない。それぞれの地域でしっかりとした体制を作り全有権者に呼びかけよう。」と候補者自ら決意をこめた訴えがされました。

「いのちを切り捨てる」石原都政はもうごめん！「いのちを大切にする吉田万三革新都政」へ転換を！

(都庁職衛生局支部定期大会から)府中病院Sさん

看護師の欠員や超勤で話をすると、組合として頑張っ

てほしいと管理職からもお願いされます。私の職場で先日こんなことがありました。ある重症の患者さまの家族から「先生はこんなに重症なのにどうして来てくれないのでしょうか。前の病院では毎日先生が来て診察してくれました。患者を診ないで何がわかるのでしょうか」といわれました。

一緒に働く医師たちの忙しさは限界を超えていても言い訳にはなりません。でも現実、当直、外来検査と、寝る時間も食事食べる時間も働いているが医師たちです。ある先生から「来月は7日も当直がある、もうふらふらだよ組合でどうにかしてほしい」といわれました。

命の現場で命が脅かされているのが現実です。今は、点滴やモニターに振り回され「人を看っていく」のがおろそかにされているのではないのか、「いのちを切り捨てる」石原都政はもう辞めてもらい、来年の都知事選では「いのちを大切にする吉田万三さんという」革新都政に転換したいと思います。

